

報道各位

2025年7月16日
株式会社日本能率協会コンサルティング
代表取締役社長 大谷 羊平

日本企業のサステナビリティ経営の未来を探る 第3回『サステナビリティ経営課題実態調査 2025』調査開始

株式会社日本能率協会コンサルティング(本社:東京都港区・代表取締役社長:大谷羊平、以下JMAC)は、2025年7月9日(水)より第3回『サステナビリティ経営課題実態調査 2023』の調査を開始をしております。

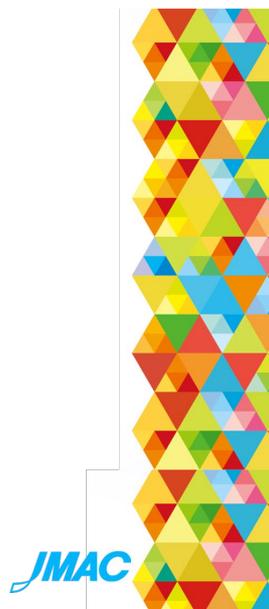
本調査は、2022年に実施した第1回調査を皮切りに、今回で第3回目の実施です。日本能率協会ホールディングスグループ(日本能率協会コンサルティング(JMAC)、日本能率協会マネジメントセンター(JMAM)、日本能率協会総合研究所(JMAR)、ジェーエムエーシステムズ(JMAS))は、近年の企業経営と社会のキーワードでもある『サステナビリティ経営』の実像を探るため4社合同での調査を行っております。

第3回 サステナビリティ経営課題 実態調査

—参加企業募集中—
回答締切：2025年8月22日

【企画・実施】

株式会社日本能率協会コンサルティング
株式会社日本能率協会マネジメントセンター
株式会社日本能率協会総合研究所
株式会社ジェーエムエーシステムズ



調査概要

調査対象:全国の主要企業のサステナビリティ担当責任者
調査期間:2025年7月9日(水)~2025年8月22日(金)
調査方法:調査ウェブサイトにて実施
回答サイト:<https://jp.research.net/r/sus-2025>

本調査に関する詳細は[こちら](#)をご覧ください

※本調査回答にあたっては調査協力御礼として、以下の特典をご用意しております
SDGs カードゲーム「サスマネ®」特別価格購入(定価:35,000円(税別))

※「サスマネ®」はJMACが開発した事業活動の経済性を上げながら、SDGsのゴールへ向かうため、さらには応援される会社になるためのアクションを学べるゲームです

参考 URL:<https://www.jmac.co.jp/topics/theme/sustainable management.html>

詳しいお申込み方法は、添付のチラシをご参考ください。

参考情報:第2回『サステナビリティ経営課題実態調査 2023』調査結果概要

【サステナビリティ経営課題実態調査の目的】

日本企業がサステナビリティ経営を推進するにあたっての重要な経営課題を明らかにするとともに、サステナビリティ戦略や施策決定へ役立てる

【概要】

調査目的	日本企業がサステナビリティ経営を推進するにあたっての重要な経営課題を明らかにするとともに、サステナビリティ戦略や施策決定へ役立てることを目的とする
調査対象	国内主要企業 4,853 社
調査方法	WEB アンケート調査
調査時期	2023年11月6日~12月1日
有効回答数	138 社(有効回答率:3.2%)
回答企業	製造業 58 社/非製造業 79 社(その他 1 社) 上場企業 118 社/非上場企業 20 社
回答者の属性	部長級以上(役員含む) 72 名 課長級 16 名 非管理職 50 名

これからのサステナビリティ経営に向けた提言(第2回調査より抜粋)

サステナビリティ経営の成果創出に向けて

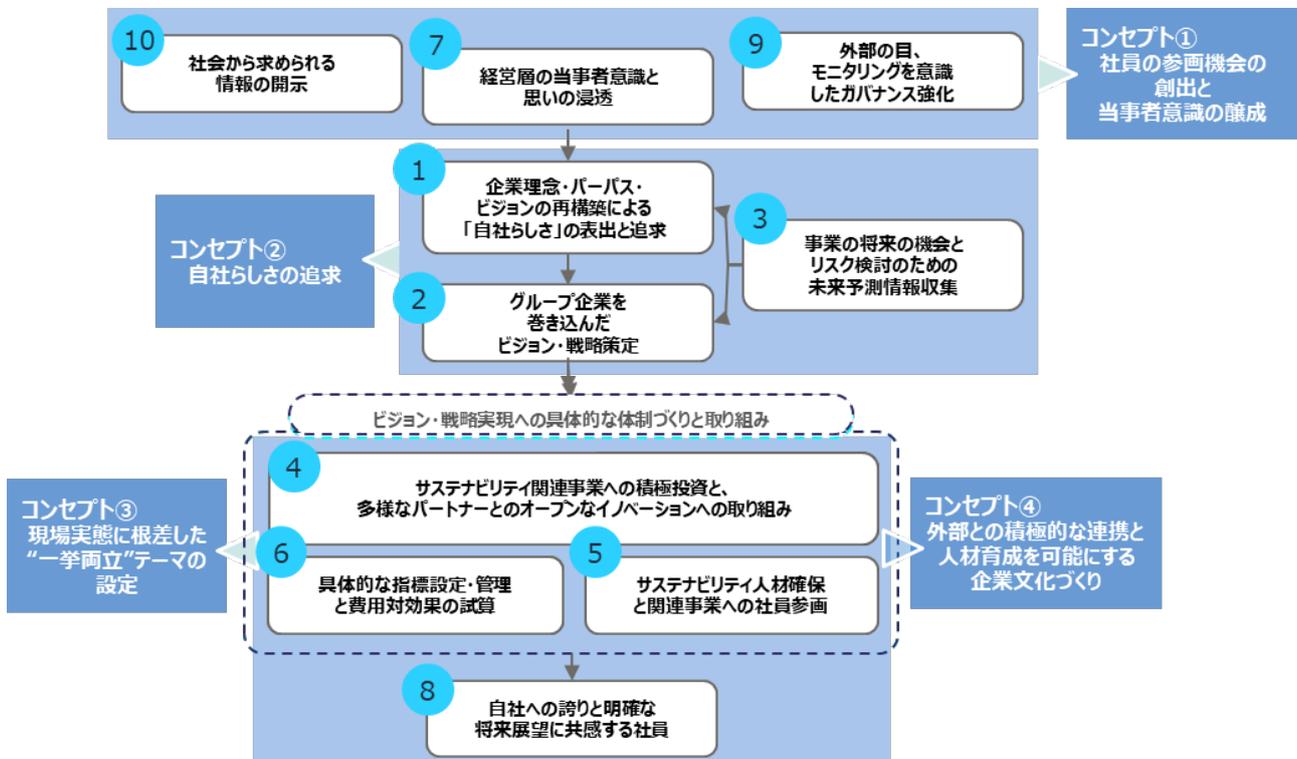
第2回調査では、自社らしいサステナビリティ経営を推進していくための4つのコンセプトや10の特徴の実践度合いがサステナビリティ経営の実現度合に大きく影響を与えていることが確認できた。また、きちんとサステナビリティ経営に取り組んでいる企業は、外部の目線をきちんと取り込み、自分事として他社も巻き込みながら活動していこうとしている様子も分かった。

このことから、サステナビリティ先進企業に向けた活動のポイント5点を提言した。

1. 外部との積極的な関係作りをきっかけに
2. トップ自ら火をつけ、
3. 社員を巻き込み
4. 自社らしさを徹底的に追求し
5. 目指すべき水準を描いて邁進する

自社らしいサステナビリティ経営を推進するための4つのコンセプト・10の特徴

第1回(2022年)第2回(2023年)に実施した調査を経て、本調査チームでは、サステナビリティ推進の取組が進んでいると思われる企業に共通するポイントを整理し、4つのコンセプトと10の取り組みを実施することがサステナビリティ企業に近づくために重要であると提言している。



調査に関する問い合わせ

JMAHD グループ合同サステナビリティ経営研究事務局
 (株)日本能率協会コンサルティング SX&パブリック事業本部内)
 電話:03-4531-4307 Mail:info_jmac@jmac.co.jp

《株式会社日本能率協会コンサルティング 概要》

社名 :株式会社日本能率協会コンサルティング (JMAC)
 所在地 :〒105-0011 東京都港区芝公園 3-1-22
 日本能率協会ビル 7階
 TEL: 03-4531-4300(代表) FAX: 03-4531-4301
<https://www.jmac.co.jp>
 創立 :1980年4月1日(創業1942年)
 資本金 :2億5千万
 社員数 :約370名



業務内容:

経営コンサルティング業。戦略、マーケティング&セールス、R&D、生産、TPM、サプライチェーン、組織・人事、BPR、ITビジネスなど、クロスファンクショナルなコンサルティングサービスを展開。

■広報・取材・その他に関するお問合せ先:

株式会社日本能率協会コンサルティング
 ビジネスイノベーション本部 広報担当:豊島 涼子
 TEL: 03-4531-4307 携帯:080-9356-5138
 E-mail: ryoko_toyoshima@jmac.co.jp

以上

第3回 サステナビリティ経営課題 実態調査

—参加企業募集中—

経営戦略の中核において
必須のサステナビリティ経営

経営者の思いを浸透させ、
社内外との連携を強化することで、
経済的価値と社会的価値の「一挙両立」を
実現する新規事業やビジネスを創出し、
持続的な発展を目指す

株式会社日本能率協会コンサルティング
株式会社日本能率協会マネジメントセンター
株式会社日本能率協会総合研究所
株式会社ジェーエムエーシステムズ

SDGsと事業経営の関係性を「おもしろく・楽しく・真剣に」学ぶ
SDGs体験型カードゲーム「サスマネ」



実態調査ご回答者限定の割引購入のご案内

1セット通常価格
35,000円
(税込・送料込み)

▶ 特別価格 **30,000円**

「サスマネ」をもっと詳しく

サスマネ JMAC



【割引購入方法】

下記①～③をご記載のうえinfo_jmac@jmac.co.jp宛にメールにてご連絡ください。

①実態調査回答割引購入希望、②購入数、③実態調査にご入力いただいたメールアドレス

※割引購入を希望される方は、**実態調査へのご回答時に必ずメールアドレスをご入力ください。**

調査に関する問合せ

株式会社日本能率協会コンサルティング
サステナビリティ経営課題実態調査 事務局
info_jmac@jmac.co.jp



JMAC JMAM JMAR JMAS

第3回調査 実施概要

日本能率協会ホールディングスグループ（日本能率協会コンサルティング（JMCA）、日本能率協会マネジメントセンター（JMAM）、日本能率協会総合研究所（JMRA）、ジェーエムエーシステムズ（JMAS））は、近年の企業経営と社会のキーワードでもある『サステナビリティ経営』の実像を探るため4社合同での『サステナビリティ経営課題実態調査』を2022年より実施しております。

今や経営課題として定着しつつあるサステナビリティ経営ですが、第1回、第2回調査を経て見えてきたのは、多くの企業が、経営者の思いの浸透、社内外との連携、最終目標である一挙両立を適える新規事業・ビジネスの創出に苦慮しているということでした。「第3回サステナビリティ経営課題実態調査」では、日本企業がサステナビリティ経営の先進企業となり、経済と社会の両方でのプレゼンスを高めることを目指し、理念浸透や主体的取り組みを促す方策、真に自社らしい取り組みの方向性、内外との連携の在り様、サステナビリティと企業価値向上の関連性など、日本企業のサステナビリティ経営の実態を探ります。是非、調査にご参加いただき、自社の今・これからの課題の洗い出しなどにご活用ください。

調査概要	
調査目的	日本企業がサステナビリティ経営を推進するにあたっての重要な経営課題を明らかにするとともに、サステナビリティ戦略や施策決定へ役立てることを目的とする
調査対象	国内事業会社（会社規模、業種業態等不問）サステナビリティ経営を検討されている部門（経営企画室、人事、広報、CRM、SX部門など）
調査方法	WEBアンケート調査
調査時期	2025年7月9日（水）～8月22日（金）
参加方法	回答URL： https://jp.research.net/r/sus-2025 

※お申込情報は共催各社で実態調査実施および分析目的の範囲内で共有させていただきます。ご確認の上、お申込みください。
 【JMCA個人情報保護方針】【JMRA個人情報保護方針】【JMAM個人情報保護方針】【JMAS個人情報保護方針】

これからのサステナビリティ経営に向けた提言（第2回調査より抜粋）

サステナビリティ経営の成果創出に向けて

第2回調査では、自社らしいサステナビリティ経営を推進していくための4つのコンセプトや10の特徴の実践度合いがサステナビリティ経営の実現度合いに大きく影響を与えていることが確認できた。また、きちんとサステナビリティ経営に取り組んでいる企業は、外部の目線をきちんと取り込み、自分事として他社も巻き込みながら活動していこうとする様子も分かった。このことから、サステナビリティ先進企業に向けた活動のポイント5点を提言した。

1. 外部との積極的な関係作りをきっかけに
2. トップ自ら火をつけ、
3. 社員を巻き込み
4. 自社らしさを徹底的に追求し
5. 目指すべき水準を描いて邁進する

自社らしいサステナビリティ経営を推進するための4つのコンセプト・10の特徴

第1回（2022年）第2回（2023年）に実施した調査を経て、本調査チームでは、サステナビリティ推進の取組が進んでいると思われる企業に共通するポイントを整理し、4つのコンセプトと10の取り組みを実施することがサステナビリティ企業に近づくために重要であると提言しています。

